上田薬剤師会 発

YAKUNI TATSU OHANASHI VOL.14

Vol.14

薬剤師の ちょっと薬に立つお話

地域の皆さんの健康のために
さまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。
毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに！

今月のTOPICS「薬局の時間外対応」

上田地域は全国でも珍しく、薬局の休日や夜間の対応体制が整っているエリアです。時間外の薬局対応について、薬剤師の長井みささんに聞きました。

もしもの時は「かかりつけ薬局」に

急に体調が悪くなるのは、平日昼間とは限りません。救急車を呼ぶほどでなくても、お休みの日や夜中に痛みや辛さをこらえるのは大変なことでしょう。特に小さなお子さんを子育て中のお母さんは不安ですよね。

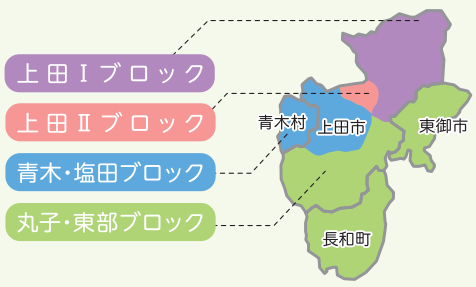
そんなときは、**「かかりつけ薬局」**に電話をしてください。上田薬剤師会の会員薬局は普段から、いつでも連絡を取れる態勢をとっています。

「かかりつけ薬局」は、患者さんがこれまで処方された薬、アレルギーや副作用の履歴などを把握したうえで、そのときの体調に合わせてアドバイスすることができます。必要があれば時間外でもお店を開けて対応します。

いつでも気軽に健康の相談ができる「かかりつけ薬局」をつくり、電話番号を登録しておくことをおすすめしたいですね。

24時間365日対応します！

夜間 休日 当番薬局



もしも休日に「かかりつけ薬局」に連絡が取れなかった場合は、休日当番薬局が開いています。上田薬剤師会では地域を4つのブロックに分け、各地域にある会員薬局のうち、**必ず1軒は日曜日や祝日も開いているようにしています。**医療機関からの処方せん調剤のほか、一般用医薬品（OTC）の相談にも対応しています。休日当番薬局は、週刊うえだや信濃毎日新聞などに掲載されています。また、**夜間については19時から翌朝7時まで**、専用ダイヤルにかかった電話を当番薬局に転送して対応しています。「かかりつけ薬局」に連絡がつかなくてお困りの際は、**専用ダイヤル☎0268-21-0660**へおかけください。

「お薬手帳」を活用しましょう

時間外で対応した患者さんが初めての方の場合、特にお子さんの場合にはいつも「うまく飲めるかな、これでよかったかな」と心配になります。

もしも夜間や休日に「かかりつけ薬局」に連絡がつかなくて、ほかの薬局に行くことがあった場合には、これまでの履歴を記録した**「お薬手帳」が役に立ちます**。普段から意識して、「かかりつけ薬局」と「お薬手帳」を上手に活用していただきたいです。

上田薬剤師会は、24時間365日、地域の皆さんが薬のことで困らないよう、今後も取り組んでいきます。

漢方コラム

このごろ医療機関でも普通に処方されるようになった漢方薬。古くからあってとても身近なようですが、実はよく知らないことが多いものです。薬剤師の高橋敏さんに、漢方について話をしていただきました。

漢方とは？

漢方は約2000年前に中国で生まれ、長い歴史と経験の中で体系化され、日本に渡って発展してきた伝統医学です。**中国（漢）から来た医術（方）なので「漢方」。**江戸時代に入ってきた「蘭学」と区別する為に名付けられました。

病気を「身体全体の不調和」ととらえ、バランスを整えることで、人が本来持っている自然治癒力を高めることに重点を置いています。そのため、「効きが遅いのでは？」という声も聞きますが、必ずしもそうではありません。すぐに効く漢方薬もあります。

漢方薬は、**2つ以上の生薬（木の根や皮などの天然物）を**、原典に基づき**決められた分量で組み合わせ**て作られています。日本では現在**「医薬品」として、正式に認められています。**

漢方薬の効果・効能

漢方薬は、複数の生薬を組み合わせた薬。**それぞれの生薬が独自のはたらきをもっているため**、1つの処方でもさまざまな作用があります。

例えば「葛根湯（かっこんとう）」は風邪薬として良く知られていますが、実は肩こりにも使用される薬です。これは葛根湯の中に、身体をあたためる（寒気が強い風邪の場合）はたらきのある生薬と、血の流れを促し筋肉の緊張を和らげるはたらきのある生薬が配合されているため、異なる症状に対応することができるのです。

さまざまな種類がある漢方薬

漢方では「証（しょう）（体質・症状）」から総合的に判断して薬を選択します。慢性的な症状や少し気になる細かな体調の変化にも対応しています。

漢方薬に副作用はない？

「漢方薬は安全で副作用がない」と思われている人が多いようですが、漢方薬も薬ですから、副作用はあります。

また、保険適用の漢方もたくさんあります。漢方の処方については、「かかりつけ薬局」の薬剤師に相談してください。

上田薬剤師会 会営薬局

▲会営薬局・増田薬局長（左）と
地域薬剤情報センター・野呂センター長（右）

上田市国分にある薬剤師会館の2階（国道側からは1階）に、上田薬剤師会が運営する「会営薬局」と「地域薬剤情報センター」があります。

備蓄薬は約2,000品目、自動錠剤包装機や無菌調剤室など、先進的な設備を備えた薬局です。他の会員薬局と同様に、地域住民のために処方せんを受け付けて調剤したり、一般用医薬品を販売したりしていますが、役割はそれだけではありません。

自動錠剤包装機

軟膏練り機

新任薬剤師の研修にはじまり、薬剤師の「生涯教育」の実践場としての側面もあります。地域住民のため、薬剤師はその職能を向上させ、常に最新の情報を把握していく必要があります。

そのため「会営薬局」「地域薬剤情報センター」はその中核を担い、いわば会員の「よりどころ薬局」として上田薬剤師会の各会員薬局を陰で支えています。

一般社団法人 上田薬剤師会 〒386-0016 長野県上田市国分994-1 事務局：TEL.0268-22-6130 E-mail：honkai@uedayaku.org HP：http://www.uedayaku.org/